



市民ネットワーク議会通信

編集・発行
市民ネットワーク

千葉市美浜区高洲3-20-45
細矢ビル403号
Tel&Fax 043-379-4958
http://shimin-network.jp/



2021(令和3)年 千葉市議会第2回定例会 6月4日～23日

補正予算58億5,500万円で新市長の公約が実現

山田京子(若葉区)が当選後、初の定例議会でした。神谷市長が選挙時に掲げていた公約のうち、第3子以降の学校給食費無償化や習いごとの利用促進、農業振興の予算、また、新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備予算等がつかしました。さらに最終日には、ワクチン接種対象が拡大されることに伴う経費や、コロナによる生活困窮者自立支援金支給など、19億3,300万円の予算が追加となりました。



山田京子(若葉区) 松井かよ子(美浜区) 岩崎明子(若葉区)

主な議案に対する 市民ネットワークの意見・要望

ワクチン接種の有無で 差別が起きないように

体質に合わないなどの理由で、新型コロナウイルスワクチンの接種をしない人もいます。接種は強制ではないため、学校行事や職場研修などの参加に「ワクチン接種」を条件とすることがないように、また差別やいじめが起きないようにすることを市に求めました。

就職氷河期世代が 職場に定着できる支援を

新職種に挑戦する35～50歳の求職者を正規雇用につなげるため、新たにセミナーや職場体験を行います。しかし就職はあくまでもスタートであり、勤め続けるためにはスキルアップ研修や、メンタルケアも行うべきと主張しました。

感染リスクが高い人の PCR検査に補助を

市は高齢・障害者施設等の従事者や、接待を伴う飲食店従業員に対し、PCR検査を行っています。これらはクラスター発生リスクが高いと判断されたための措置ですが、例えば通院同行支援をしているNPOのスタッフは、感染リスクが高くても検査対象になつていません。検査が受けられる対象を広げるよう要望しました。

女性が社会とつながれる 支援を継続的に

社会から孤立して不安を抱えている女性にむけて、相談や訪問型支援等をおこなう新しい体制ができます。委託事業者と市が積極的に連携し、国の補助制度がなくなっても事業を継続するよう求めました。

小規模農業者が 持続可能な千葉市に

若葉区にある農政センターを、企業の持つ最新技術を使った「スマート農業」実証実験を行う場にする予算がつかしました。資金力のある大企業や大規模農業者だけでなく、小規模農業者への支援こそ充実させることを求めました。

学校は地域とチームに なっていじめに対処を

平成24年に市立小学校で起きたいじめに係る損害賠償請求控訴事件で、千葉市と加害児童の保護者が損害賠償金を支払うことになりました。現在も増え続けるいじめに対し、学校と地域の大人たちがチームになって取り組むこと、第三者機関に通報できる仕組みを検討することなどを求めました。



今年度の3人の所属委員会が決まりました

委員会の議案審議から

総務委員会

ふるさと納税の リニューアル

千葉市民が他の自治体へふるさと納税をおこなうことで、本市に入る税金は減ります。令和元年は6億円の赤字となりました。

寄附を増やすために

市は「返礼品競争には与しない」を基本姿勢としつつ、返礼品の提供に必要な寄附金額を「一律5万円以上」から「最低5千円程度」に引き下げます。同時に、地元の特産品を発掘し返礼品とすることで、事業者の支援や地域の活性化につなげます。

魅力的な返礼品を

総務省告示では地場産品の基準を「返礼品等の原材料の主要な部分が生産されたものであること」としています。例えば学校給食でおなじみの「ちはなちゃんゼリー」は市外の工場で加工していますが、千葉市産のにんじんが原材料なので基準に合っています。市民からの口コミなど、積極的な情報収集につとめ、魅力的な返礼品を発掘するよう求めました。(松井かよ子)



教育委員会

紙おむつ処理への補助

これまで、保護者が持ち帰っていた使用済み紙おむつを、10月から民間保育園でも引き取って処理することとし、その経費を国・県・市で3等分します。保護者や保育園の負担軽減になると評価しました。



フリースクール補助

不登校児童生徒が利用しているフリースクールが使う学習活動の充実にかかる経費及び施設借り上げ料(上限50万円まで)を市が単独で2021年7月から補助します。様々なフリースクール等があるので、形にとらわれずに柔軟に補助対象とすることを要望しました。

第3子以降の学校給食が無償に

3子以上を扶養し、かつ第3子以降が千葉市立の義務教育諸学校で給食の提供を受けている児童生徒の保護者を対象として、2022年1月分から給食費を無償とします。1～3月分の予算は1億3,300万円になります。経費削減を理由に、食材の質や安全性を低下させないよう要望しました。(山田京子)

保健委員会

がん患者のウィッグと療養生活支援

がん患者が不安なく社会生活を送れるよう、ウィッグ購入費用助成と40歳未満対象の在宅療養生活支援をおこないます。今後も当事者の声を聞き、その他必要な支援へも助成を拡げることを求めました。

墓地の面積基準が廃止に

市民への「お墓に関するアンケート」では、2㎡未満の墓地を希望する人が増えていたことから、既存の墓地に設定されていた面積基準を廃止します。墓地に対するニーズは時代によって変化することから、これからも市民の声を聞きながら需要にこたえる取り組みを進めるよう要望しました。



青葉病院のX線血管造影装置を更新

3月下旬に不具合で停止した医療機器を更新するため、企業債(借金)で購入費用1億4千万円を確保しました。急な故障で患者に不便をかけるまいと、計画的に機器の更新をすすめることを求めました。(岩崎明子)